

妙法寺だより

今を生きる智恵と勇気ともに学び歩むお寺

vol.253

秋彼岸号

9

2023 AUTUMN
季刊紙2023年9月発行



- ・ 秋季彼岸会法要
- ・ 宗祖御入滅報恩会式
- ・ 浄心道場のご案内
- ・ 寄付のご案内／妙法寺NEWS

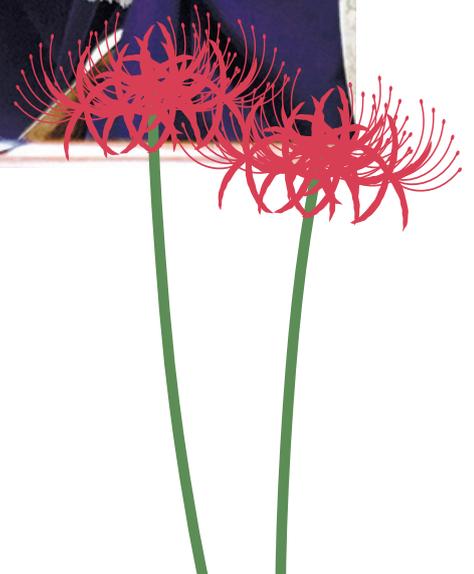
コラム「住職のCoffeeTime」コテンラジオにハマってます



秋季彼岸会法要

9月23日 (秋分の日)

14:00 開式



卒塔婆

お彼岸期間中（9月20日～26日）はご自由に本堂でお焼香し、卒塔婆をお持ちになり、お墓参りください。

卒塔婆の申込は9月15日までお願いします



お申いただきました卒塔婆は、秋のお彼岸が始まります9月20日までにお経を上げ、本堂内にお供えしております。



卒塔婆を代わりに
墓地にあげご供養いたします

さまざまなご事情により、お墓参りに来られない方、卒塔婆を墓地に供えることが難しい方など、お申込書にその旨をお書き添えください。代わりに墓地へおあげしご供養します。

生花・線香

9月20日～26日まで、受付にてお墓用の生花をご用意しております。

生花（お線香付）：1500円

お線香：100円

※墓地では販売していませんのでご注意ください。



宗祖御入滅報恩会式

11月5日(日)午後5時より

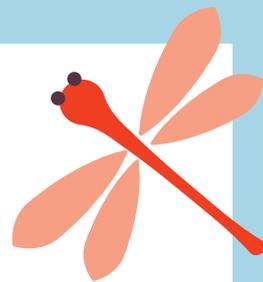
宗祖御入滅報恩会式は、通称「お会式」と呼ばれ、弘安5年10月13日に御入滅された宗祖日蓮聖人。そして元享3年3月26日に御入滅された、妙法寺を開山された日昭聖人の遺徳を讃える法会であります。どなた様でもご参列いただけます。共にご報恩のお題目を唱えましょう。

※本年は感謝祭は中止し、法要後に住職より法話をいたします。

- ◆ 宗祖日蓮聖人御入滅第742遠忌
- ◆ 開山日昭聖人御入滅第701遠忌



浄心道場のご案内



本年の10周年の特別企画の浄心道場は毎回120名を超える多くの方にお越しいただいております。
9月は曹洞宗開祖道元禅師を広島県普門寺住職 吉村昇洋先生にお話しいただきます。吉村先生

は曹洞宗大本山永平寺で厳しい修行をされ、仏教や禅のみならず臨床心理学や精進料理にも精通し、多くのご著書を出版されています。NHK総合『ごごナマ』やNHK Eテレ『まる得マガジン』『きょうの料理』でも講師を務める多彩なお坊さんです。10月の日蓮聖人は、私が務めさせていただきます。ゼロから日蓮聖人を学び直し、日蓮聖人のご生涯や南無妙法蓮華経のお題目についてわかりやすく解説できるよう務めます。12月のお釈迦様は、花園大学の教授先生であり、多くの仏教書を出版されている佐々木閑先生です。私も佐々木先生の本を通じてお釈迦様の仏教を学びました。また、私の大好きな番組である「100分de名著（NHK Eテレ）」の番組ではお釈迦様の言葉や般若心経などを解説されております。皆さまのご参加お待ちしております。



9/3 (日)

曹洞宗八屋山普門寺住職／相愛大学非常勤講師／公認心理師・臨床心理士

吉村 昇洋 (よしむら しょうよう)

「春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪さえて冷(すず)しかりけり」
これは、川端康成がノーベル賞受賞記念講演の冒頭で述べた和歌ですが、これは道元禅師が詠まれたものからの引用です。自己の思い計らいを手放して、ありのままの自然に仏の姿を見て取った道元禅師とはどのような人物であったか、お話いたします。



10/1 (日)

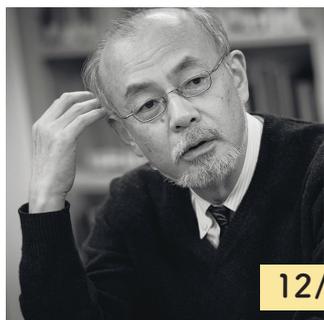
日蓮宗 妙法寺住職

久住 謙昭 (くすみ けんしょう)

激動の鎌倉時代後期、日蓮聖人は他の宗派を批判することで数々の迫害を受けるも、屈することなく全ての人々が平和に生きられる世の中を目指し日蓮宗を開かれました。ひとり一人が菩薩となって、人々のために力を尽くし、この世界を浄土にすることを目指された日蓮聖人の思いをお話いたします。



11月の浄心道場は右記の御会式となります



12/3 (日)

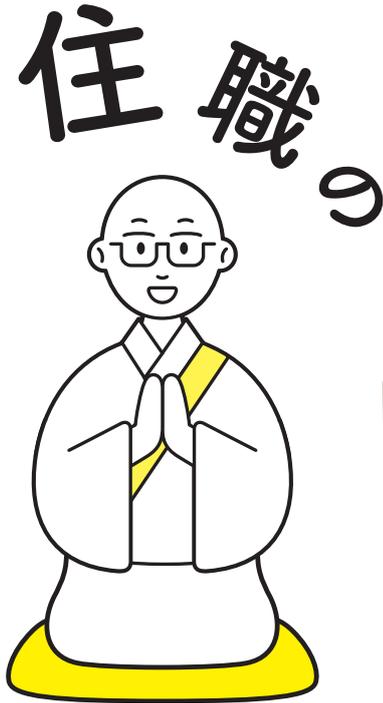
花園大学特任教授

佐々木 閑 (ささき しいずか)

様々な苦難に翻弄される現代社会において、穏やかに生きるための知恵をブツダの教えの中からお話しします。



コテンラジオにハマってます



住職の Coffee Time



今回の住職のコーヒータイムは、住職が今ハマっているラジオ番組をご紹介します。その名も「COTEN RADIO (コテンラジオ)」という番組です。親しい先輩からとても勉強になるよ」と勧められ聞き始めたのがきっかけです。現在、インターネットの Spotify・Apple podcast・YouTube で展開されています。

コテンラジオとは？

この番組は、歴史が大好きな株式会社 COTEN の深井龍之介 (ふかいりゅうのすけ) さん、楊睿之 (ようえいし) さんと、歴史を知らない株式会社 B O O K の樋口聖典 (ひぐちきよのり) さん 3 人が学校の授業ではなかなか学べない国内外の歴史の面白さを学び、「人間とは何か」「現代人の抱える悩み」「世の流れ」を読み解いていく笑いや、涙あふきのラジオ番組です。私自身、仏教の歴史以外の歴史について特段詳しくありませんでしたが、このラジオをきっかけにすっかり歴史好きになりました。

このラジオは、織田信長やヘレンケラー、ガンジーなど、歴史に名を残した世界の偉人についてだけでなく、お金、教育、性、資本主義など、今現在、私たちの生活に当たり前に根付いている社会の仕組みや制度、産業や文化など、歴史の中でどのように誕生し変遷を繰り返し





できたのかをわかりやすく解説してくれます。仏教に関するテーマだと最澄と空海、三蔵法師など、仏教のプロである私も知らないことや最近の研究によって判明したことなど新たな視点で学ぶことができました。ひとつのテーマで100冊以上の本や論文を読み込み、膨大な情報の中から多角的な知識と体系的な目線で歴史を深く観察し、そこから導き出された教訓によって今を生きるための学びを得ることができます。

例えば、紀元前1世紀のローマ共和政末期の政治家であり、将軍のカエサル。皆さまもよくご存じの戦国時代の武将織田信長。三国志で有名な劉備（りゅうび）に仕え活躍した將軍張飛（ちやうひ）。それぞれ歴史ではとても有名ですが、3人の共通点は強権的な振る舞いによって最期は部下に暗殺されたことです。なぜそのような不運な最期を迎えたのか。歴史を学び共通点を探ることで、現代にも活かせる教訓を導き出すことができます。

また、生きている時には全く注目も活躍もしなかった人が亡くなった後に後世の人たちによって認められ、偉人として世の中を変える存在になった人もいます。現代ですぐに答えを出すことや、価値や評価がすぐにわかるものが蔓延しているように思います。人の評価とは決してそうではなく、時間が経つことによって生まれる評価があることを知るだけで、心に余白を持つことができるのではないのでしょうか。

人文知とメタ認知

コテンラジオでは「人文知」と「メタ認知」という言葉がよく使われています。

人文知とは…

世界の歴史からさまざまな事象を学ぶことで先人より今を生きる智慧を導き出すこと

メタ認知とは…

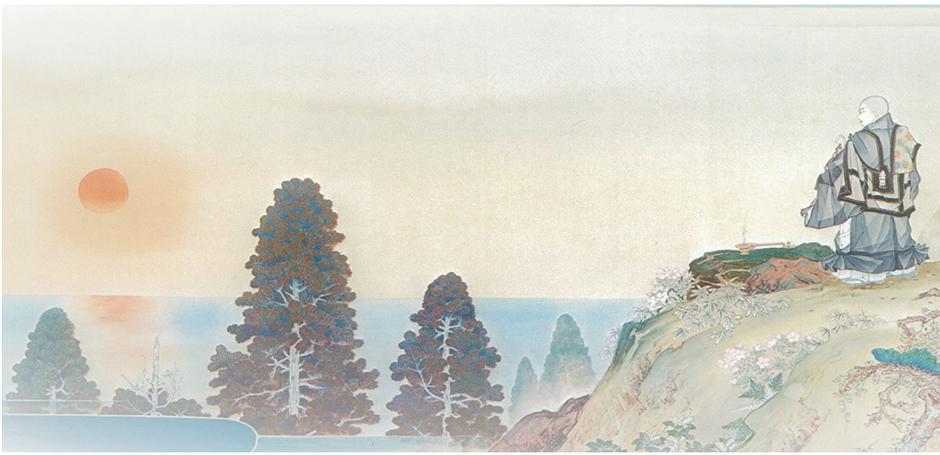
「メタ」は高次元という意味。異なる価値観やさまざまな視点を持つことで、より俯瞰的に物事を見たり客観的に判断する認知力のこと

このラジオを聞くようになって気づいたことは、私たちは近代の価値観や常識から生まれる風潮の正しさに縛られ、正義という思い込みに苦しんでしまうことがあります。しかし3500年の膨大な「人文知」を学ぶことで、自分自身や社会を「メタ認知」し、新たな価値観や視点が生まれることでその束縛から放たれ、心の自由や現代を生きる勇気を得られるのではないのでしょうか。皆さまもぜひ聞いてみてください。

ご寄付募集中

日蓮聖人ご生誕800年事業

日蓮聖人の御真筆を未来につなげるプロジェクト



修復作業も滞りなく進み、来年の令和6年11月3日の完成奉告式には皆さまにご披露させていただく予定です。寄付の受付は、令和6年10月末日まで受付しております。皆さまからのご支援、お待ち申し上げます。(準備の都合上、30万円以上のご寄付は令和6年1月をもちまして締切とさせていただきます)



妙法寺 News

はあ〜い!フジタで〜す!!



神奈川県民なら誰もが知っている「はあ〜いフジタで〜す!!」でお馴染みの街角レポーター藤田優一さんが地獄VRの体験に来られました。いつも聞いているラジオに生出演する緊張感でドキドキの楽しい時間でした。

駐車場の整備を自分たちでやってみました!



お盆に向けて駐車場の整備の見積りを業者さんをお願いしたところ、材料費や人件費の高騰による高額に驚きました。皆さまからお預かりしている護持費(年会費)を大事に使うため、重機はレンタルし砂利のみ購入して自分たちで駐車場の整備に挑戦しました。プロのようにはいきませんが、先日のお盆の時には不便をかけることなく活用できたようで安心しました。